

トウモロコシ・サツマイモ栽培向け生分解性マルチフィルム 『バイオらいと』

軽量設計により容易な取り扱いを実現

2 月 2 日より発売

アキレス株式会社(本社:東京都新宿区、社長:日景一郎)は、生分解性マルチフィルムの新製品として、トウモロコシやサツマイモの栽培向けに土壌中での生分解速度を高めた『バイオらいと』を 2 月 2 日(月)より発売します。

当社は、生分解性マルチフィルム『ビオフィレックスマルチプラス』を開発・販売しています。生分解性マルチフィルムは、土中の微生物の働きにより最終的に水と二酸化炭素に完全に分解し、使用後はしっかりと鋤(す)き込むことで、ポリエチレンマルチフィルムで行なわれていた剥ぎ取りや土落とし、回収の作業が不要となります。省力化による生産性向上や廃棄コストの削減に寄与することに加え、廃プラスチックの運搬・焼却が不要であることで温室効果ガスの排出を抑え、環境負荷低減にもつながることから、さまざまな地域・作物の栽培でご使用いただいています。

多様な作物の栽培において生分解性マルチフィルムの利用が進む中で、作物ごとに適した生分解性を持つマルチフィルムへのご要望が寄せられていました。そこで当社は、ご好評をいただいている『ビオフィレックスマルチプラス』と同等の優れた保湿効果や雑草防止効果を備え、トウモロコシやサツマイモの栽培向けに土壌中での生分解速度を高めた生分解性マルチフィルム『バイオらいと』を新たに開発しました。薄くて軽いことも特長で、展張時における生産者様の負担を軽減することができます。

新設計の生分解性能を備えた『バイオらいと』は、生分解性を意味する英語”biodegradable”の”bio”から取った「バイオ」と、取り扱いの“容易さ”や“軽さ”を表す英語“light”の「らいと」を組み合わせ命名しました。当社は今後も産地のニーズにお応えして、生分解性マルチフィルムの機能改良・向上を図り、作物の良好な生育や生産性向上に貢献していきます。



写真:『バイオらいと』



写真:『バイオらいと』展張例(サツマイモ栽培での使用)

『バイオらいと』は日本バイオプラスチック協会が認証する「生分解性プラマーク」(登録番号 1385)を取得しており、環境配慮型製品としてお使いいただけます。



日本バイオプラスチック協会認定品
登録No.1385

『バイオらいと』の製品概要

製品名	バイオらいと
発売日	2026 年 2 月 2 日(月)
製品特長	■トウモロコシ・サツマイモ栽培向け生分解性マルチフィルム トウモロコシやサツマイモの栽培向けに土壌中での生分解速度を高めました。薄くて軽いので展張時の作業負担を軽減します。
	■環境に配慮した生分解性 植物由来原材料を含む配合を採用。土壌中の微生物により最終的に水と二酸化炭素に分解されます※。廃プラスチックの運搬・焼却が不要で、温室効果ガス排出量の削減につながります。日本バイオプラスチック協会が認証する「生分解性プラマーク」(登録番号 1385)を取得しています。 ※生分解性は、土壌の種類や環境により異なります。
	■優れた保湿効果・雑草防止効果 『ビオフィレックスマルチプラス』と同等の保湿効果や雑草防止効果を備えています。
規格寸法	厚さ 0.014mm × 幅 95cm × 長さ 200～600m 厚さ 0.014mm × 幅 135cm × 長さ 200～600m
色	黒
希望小売価格	オープン価格
販売地域	全国
ホームページ	【アキレス株式会社 コーポレートサイト】 https://www.achilles.jp